

# イッカツエース<sup>®</sup>粉剤DL

■種類名	シノテフラン・テブフェノジド・カスガマイシン・トリシクラゾール・バリダマイシン粉剤
■有効成分	シノテフラン----- 0.35%
	テブフェノジド----- 0.75%
	カスガマイシン—塩酸塩----- 0.34%
	(カスガマイシンとして----- 0.30%)
	トリシクラゾール----- 0.50%
	バリダマイシン (バリダマイシンA) ----- 0.30%

■登録番号	第23113号
■毒性	普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
■登録初年	2012.09.26
■性状	類白色粉末 45µm以下 浮遊性指数 20以下
■有効年限	4年
■包装	3kg×8袋

## 【特長】

- いもち病防除剤ダブルカットと紋枯病防除剤バリダシン、殺虫剤スタークル、ロムダンの混合粉剤。
- カスミンを0.3%配合しており、細菌性病害に適用がある。
- 出穂期に発生するほとんどの病害虫に効果を示す基幹防除剤として使用できる。

## 【適用内容】(2023年10月末日現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病 内穎褐変病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類 コブノメイガ フタオビコヤガ ニカメイチュウ イネツトムシ	3～4kg/10a	穂揃期まで	2回以内	散布

シノテフランを含む農薬の総使用回数	テブフェノジドを含む農薬の総使用回数	カスガマイシンを含む農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数
4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	2回以内	4回以内 (種子浸漬は1回以内、育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内)	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)	6回以内 (育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)

## 【効果・薬害等の注意】

- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく、流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布すること。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- れんこんには薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布すること。
- 野菜類の幼苗及びなし(二十世紀、幸水、新水等)には、薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- きく(秀芳の力等)には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 【安全使用上の注意】

- ❖ 誤食などのないよう注意すること。  
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- ❖ 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ❖ 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。  
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。